１学年「総合的な探究の時間」

東京外国語大学　キャンパスツアー・研究室訪問

７月２５日（木)、「総合的な探究の時間」の連携先である東京外国語大学において、キャンパスツアーと研究室訪問をさせていただきました。

午前のキャンパスツアーでは、事前に各自で視聴した動画を参考にしながら、校内や図書館などを巡りました。昼食は学食を利用させていただきました。

午後の研究室訪問では、３グループに分かれて、３人の先生の研究室をそれぞれ訪問させていただきました。

篠原琢先生（歴史学）の個人研究室とチェコ語共同研究室では、チェコ語だけではなくチェコの文化について紹介いただき、また大学の研究室での研究の進め方についてもお話いただきました。

中山俊秀先生（言語学）のアジア・アフリカ言語文化研究所のコモンズラボでは、少数言語のヌートカ語の研究について、研究手法や先生が少数言語を研究されるきっかけ等についてお話いただきました。

古川高子先生（歴史学）の海外事情研究所と個人研究室では、古川先生がドイツ語圏の研究を行うに至った理由や、研究内容についてお話いただきました。

また各研究室では質疑応答にもご対応いただきました。

これらの経験を、今後の探究活動のみならず、将来の進路選択にもつなげてほしいと思います。

研究室のご紹介をいただきましたお三方の先生方、本当にありがとうございました！